



**Q8**

**学習の見通しと振り返りのポイントは、どのようなものですか。**



**A** 生徒に学習の見通しをもたせることは、生徒が授業を通して音楽を学習する意味を理解することにつながります。

音楽の授業を行うに当たって、学習の見通しについて伝える場面はいくつかあります。例えば、年度初めの授業開き（オリエンテーション）、題材における第1時、毎時の導入などです。毎時の導入においては、本時の学習のねらいについて伝え、本時の学習の見通しをもたせることがポイントです。そのために、教師が作成した学習計画表を示したり、題材を見通すことができるワークシートを作成したりすることなどが効果的です。また、他学年の学習の成果を掲示したりすることによって、次年度への学習の見通しをもたせることもできます。本時の学習のねらいの立て方については、題材の目標の立て方を参考にしましょう。

◆授業開き（オリエンテーション）の例

授業開き（オリエンテーション）では、なぜ音楽を学ぶのかについて生徒が理解する大切な場面です。音楽科の学習のねらいについて伝えるだけでなく、生徒に配付したり、拡大印刷したものを音楽室内に掲示したりするなどして、常に見ることができるようにする工夫も大切です。年度末に、この内容に沿った「振り返り」を行うと、更に効果的です。



音楽科の学習のねらい こんな音楽の授業であってほしい！

- 大人になっても、いつまでも心に残るような音楽学習にしましょう。  
 そのためには…  
 ・得意・不得意に関わらず、精一杯取り組みましょう。  
 ・自分で考え、自分の思いや意図をもって取り組みましょう。  
 ・音楽学習で心に残ったことを書き留めたり、先生や友達、家族に話しましょう。
- いろいろな音楽を知って、自分の音楽観（音楽に対する見方や考え方）を広げましょう。  
 そのためには…  
 ・先入観をたず、いろいろな音楽に接してみましょう。  
 ・その音楽がなぜ生まれたのか、社会にどのような役割を果たしているのかを考えましょう。  
 ・自分の生活を豊かにするおもしろいものにするために、音楽とどのように付き合えばよいかを考えましょう。
- いろいろな音楽のよさに気づき、自分の好きな音楽やお気に入りの音楽を聴けるようになりましょう。  
 そのためには…  
 ・音楽との出会いを大切にしましょう。  
 ・音楽を形づけている要素について知り、よさや美しさの理由をいつも考えましょう。  
 ・自分が感じたことやイメージしたこと、その理由などを先生や友達、家族にどんどん語りましょう。

充実した楽しい音楽の授業の雰囲気をつくるためには…

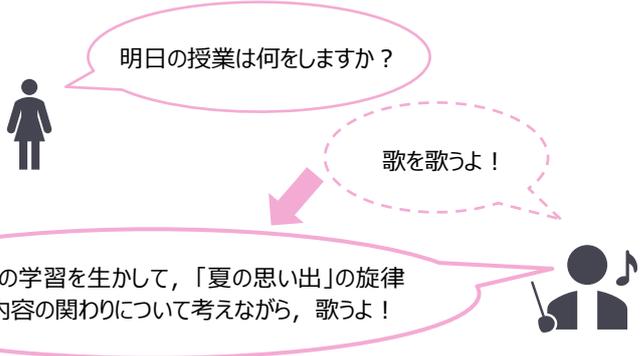
- ・恥ずかしさは捨て、自分の精一杯で表現しましょう。
- ・「音楽の感じ取り方や表現の仕方はいろいろある」ということを心に留めて、友達の発言や演奏を共感的に聴きましょう。
- ・課題には見通しをもって取り組み、自分の全力で仕上げましょう。

楽しんで、しっかりと音楽の力が身に付く授業をともに創っていきましょう。  
 音楽学習の成果を広く学校生活や家庭生活の中で生かしましょう。

【平成27年度佐賀県教育センターサタセン第7回「音楽科教師の交流研修会」での資料を基に作成】

◆学習内容や学習の予定を伝える場面の例

学習内容や学習の予定を伝える場面では、題材の中で本時の位置付けを明確にし、学習内容の具体について伝えることが大切です。



参考

⇒ Q6：題材をデザインする際のポイントは、どのようなものですか。

